

東京都版市場化テストの実施

東京都

人口：12,273,376 人

面積：2,187.11 km²

取組の概要

東京都は、公共サービスの質の向上とコストの縮減を図るため、官と民の競い合いを実現する「東京都版市場化テスト」を実施することとしている。

平成 18 年度には、モデル事業として都立技術専門校において「官民競争入札」を実施し、19 年度から事業を開始する。

取組の紹介

1 取組の背景

- 東京都では、行政サービスの提供主体について再検討を行ってきているところであるが、行政が運営責任を負う事業についても、民間が実施主体となることで、サービス水準や効率性の向上が図られる場合には、民間開放手法を積極的に活用することとし、官と民の競い合いを実現する市場化テストについてもこの一手法として導入に向けた検討を行ってきた。

2 取組の具体的内容

- 平成 18 年度中にモデル事業として、これまで、民間開放が困難とされてきた都立技術専門校において、「官民競争入札」を実施し、19 年度から事業を開始する。
- 今後は、モデル事業の検証を行うとともに、19 年度に、民間事業者等の意見を募集し、民間が実施可能な訓練科目について、市場化テストを本格実施していく。
- また、18 年度から対象事業の洗い出しを行い、民間で同種のサービスが提供されており、競争原理にさらすことで、サービスの質や効率性の向上が期待できるものを対象事業として順次選定し、「官民競争入札」を実施していく。

【モデル事業の内容（実施経過、結果など）】

(1) 対象業務

都立技術専門校における求職者向け公共職業訓練

(2) 対象案件

都立技術専門校の科目のうち、民間事業者や専門学校等へのアンケート調査の結果を踏まえ、一定規模の民間の受け皿がある科目を対象

＜対象科目（5科目7校）＞

科目名	技術専門校	1回の定員	訓練期間
ビジネス経理科	高年齢者技術専門校	30名	1年間 (6ヶ月 ×2回)
医療事務科	飯田橋技術専門校、八王子技術専門校	30,40名	
ネットワーク構築科	飯田橋技術専門校有明分校	30名	
貿易実務科	飯田橋技術専門校有明分校	30名	
経営管理実務科	高年齢者技術専門校、府中技術専門校	30名	

(3) 入札方法

総合評価一般競争入札により、対象科目ごとに民間事業者と東京都の提案内容を比較して、質と価格を総合的に評価し、最も有利な提案をした者を選定

(4) 東京都版市場化テストモデル事業監理委員会の設置

市場化テストモデル事業の実施過程における公平性・中立性・透明性を保つため、外部委員を含む東京都版市場化テストモデル事業監理委員会を設置

(5) 実施経過

- 第1回東京都版市場化テストモデル事業監理委員会開催
(実施要綱について) 平成18年10月3日
- 入札公告 平成18年10月16日
- 実施要項、入札説明書等の配布等 公告の日から平成18年11月16日まで
- 入札説明会 平成18年10月20日
- 質問事項の提出 公告の日から平成18年10月27日まで
- 質問事項及び回答の公表 平成18年11月6日
- 入札参加申込書の提出 平成18年11月13日から16日まで
- 官民の事業計画書及び入札書等の提出 平成18年12月5日
- 第2回東京都版市場化テストモデル事業監理委員会開催
(事業計画書に対する評価について) 平成18年12月15日
- 開札（事業者の決定） 平成18年12月18日

(6) 入札結果

	対象科目（管轄校）	事業実施予定者の氏名又は名称	提案者数	
			都	民間
1	ネットワーク構築科 （飯田橋技術専門校有明分校）	ヒートウェーブ株式会社	1	4
2	貿易実務科 （飯田橋技術専門校有明分校）	株式会社東京リーガルマインド	1	2
3	医療事務科 （飯田橋技術専門校）	ヒューマンアカデミー株式会社	1	5
4	医療事務科 （八王子技術専門校）	産業労働局雇用就業部及び都立八王子技術専門校	1	1
5	ビジネス経理科 （高年齢者技術専門校）	株式会社東京リーガルマインド	1	6
6	経営管理実務科 （高年齢者技術専門校）	株式会社東京リーガルマインド	1	3
7	経営管理実務科 （府中技術専門校）	株式会社東京リーガルマインド	1	3

3 取組の効果

- ・ これまで独占的、非競争的であった公共サービスの提供に関する分野において、官民の競い合いにより、サービスの質の向上とコストの縮減を一層進めていくことが可能となる。
- ・ 入札の結果、官の提案価格と民の落札価格との差額は、合計約 8,000 万円となり、一定のコスト縮減効果が確認できた。

4 取組中の課題・問題点

官民競争入札における公正・中立性・透明性の確保が必要

① 公正な競争の確保

- ・ 総合評価一般競争入札を採用
- ・ 都内部の事業実施部署と入札執行部署との情報遮断の徹底
- ・ 民間とのイコール・フッティングを図るため、民間の意見を聴取し、実施要項へ反映

② 中立性の確保

- ・ 東京都版市場化テストモデル事業監理委員会による実施過程のチェック

③ 透明性の確保

- ・ 間接経費を含む官側の事業コストや公募から落札者決定までの入札手続きの公表
- ・ 事業実施状況のモニタリング結果及び事業実施後の評価結果の公表

5 住民の反応・評価

- ・ モデル事業実施にあたり、事業者アンケートを実施したところ、回答した事業者の半数以上からモデル事業の実施や委託訓練等の動向について「関心がある」という回答を得た。

6 今後の課題

- ・ 民間事業者の参入しやすい環境整備が重要であり、そのため、民間事業者の意見を積極的に取り入れるとともに、官の情報を適切に開示することが必要である。
- ・ 本格実施していく際には、情報公開をさらに推進するとともに、民間事業者のより良い意見や提案を取り入れ、事業に活用していく。
- ・ また、今回実施したモデル事業は、今後、実施状況についてモニタリングと評価を行い、適切な事業執行を検証する必要がある。
- ・ 実施方法については、以下のとおりである。

① モニタリング

対象業務の実施状況や就職率等についてモニタリングを行い、事業計画書に基づき確実に実施されているかを確認し、東京都版市場化テストモデル事業監理委員会の意見を聴いた上でモニタリング結果を公表

② 事業実施後の評価

実施期間終了後、対象業務の総合評価と今後の取り扱いについて、東京都版市場化テストモデル事業監理委員会の意見を聴いた上で結果を公表

7 今後取り組む自治体に向けた助言

- ・ 前述のとおり、市場化テスト実施に当たっては、民間事業者の参入しやすい環境整備が重要であり、そのため、民間事業者の意見を積極的に取り入れるとともに、官の情報を適切に開示することが必要である。

(参考) 当該取組内容の関連ホームページ

- ① 東京都版市場化テストモデル事業監理委員会の概要、モニタリング及び評価手法の詳細について（東京都総務局行政改革推進部ホームページ）
<http://www.soumu.metro.tokyo.jp/02gyokaku/index.htm>
- ② 入札の詳細な結果、落札者または東京都対象業務所管部署による業務の具体的な実施体制及び実施方法の概要等について（東京都産業労働局ホームページ）
<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/whats-new/sijoukatest.html>

担当部署：総務局行政改革推進部行政改革課